



【特別支援学校のセンター的機能】

～しろがね特別支援学校による地域支援～

特別支援学校のセンター的機能として、専門アドバイザーが中心となり、前橋市・渋川市・吉岡町・榛東村・玉村町の小学校・中学校・高等学校・幼稚園・保育園を訪問したり、保護者の悩みを聞いたりして、発達気になる子ども達についての継続的な支援を行っています。

専門アドバイザーの仕事を紹介します



障害の有無にかかわらず、教育や保育の場において、子どもの行動に予測を立て、子どもが失敗しないように適切な手立てについて検討し対応することは、間違った経験を子どもにさせないためにも大切なことです。

ある年中児のクラスを参観した時のことです。卒業生を送る会で年長さんに渡すお手紙を作る時間でした。

最初に、年長さんの誰に向けて絵カードを作るかを決めます。担任が「Aちゃんは年長さんのB君に…」のように発表します。しかし、作る相手である年長さんの名前を聞いてもわからないお子さんが多くいました。そこで、「授業をしている年長さんの様子を廊下から見よう」ということになりました。

そのときに、担任は以下の3つの言葉をかけてから、いつものように2列に並んで、年長クラスに向かって歩き出しました。

- ①たんぽぽ組（年長クラス）の前を通るよ。
- ②静かにね。
- ③手を振らなくていいからね。

私はこの言葉を聞いたときに、指導の上手な先生だなと思いました。
①②の言葉かけをすることは予想がつきます。でも、③の言葉かけは子ども達のことをよく知っている担任にしかできません。

このように、指導の上手な先生は、子ども達の行動をあらかじめ予想して、対応することができます。そして、静かに参観できた子ども達を褒めていました。

逆に、何も指示をしないにもかかわらず、他クラスの前でうるさくした子どもを叱る先生もいます。

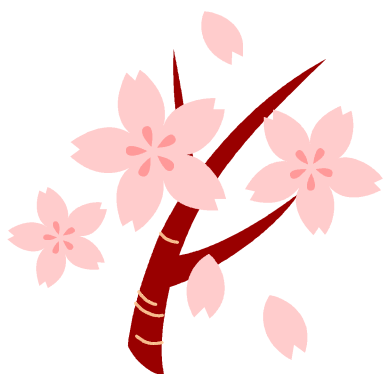
子どもを叱る前に、自分の指示が適切であったかを振り返ることも大切ですね。

相談依頼の件数（外部支援）平成30年度の結果

対象	幼稚園 保育園	小学校	中学校	高等学校	その他	計
件数	279件	262件	48件	8件	5件	602件

（その他は関係機関からの相談および研修の講師依頼）

日頃から、本校のセンター的機能の御理解と御協力をありがとうございます。
障害の有無にかかわらず、子どもの実態把握・指導内容・指導方法について悩んでいることがありましたら、お気軽に御相談ください。お待ちしております。



群馬県立しrogane特別支援学校
担当：専門アドバイザー 尾岸 純子
電話：027-268-6111
FAX：027-268-6113
メール：shirogane-snes01@edu-g.gsn.ed.jp